



KANTO 470 CLASS ASSOCIATION



The 2nd Kanto 470 Association fleet race in 2020

2020年 第2回 関東470協会フリートレース

SAILING INSTRUCTIONS

Organising Authority (OA): 関東470協会、神奈川県セーリング連盟

今大会は選手への連絡方法として、LINEも使用します。

下記、関東470協会LINEオープンチャットにご参加ください。

※ 1艇最低1名



URL: <https://bit.ly/2DxERe6>

- ※ 関東470協会LINEオープンチャットには、大会2日前にはご参加ください。
- ※ LINEにご参加できない場合、大会2日前までにメール連絡ください。
- ※ LINEはOAやレースコミッティからの発信や出着艇などの連絡用として使用予定です。
- ※ LINEオープンチャットで使用するプロフィール名は大会参加のセイルナンバーをお願いします。
(ヘルムスマン登録例: JPN1_h、クルー登録例: JPN1_c、サポーター登録例: JPN1_s)
- ※ LINEでの質問・問い合わせにはご遠慮ください。

1. 規則

- 1.1. 本大会は『2017-2020セーリング競技規則』(以下『規則』という)に定義された規則を適用する。
- 1.2. SIはNoRよりも優先する。これは規則63.7を変更している。
- 1.3. 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
 - 1.3.1. [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。
レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
 - 1.3.2. [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。

2. 欠番

3. 欠番

4. 競技者への通告

4.1. 通告は、大会 WEB ページや、関東 470 協会  LINE で行われる。

大会 WEB ページ: <http://www.enoshima470.org/fleet-race-2>



WEB ページ

5. 帆走指示書の変更

5.1. レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 10:00 以前に掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の最初の予告信号の 90 分以前に掲示される。

6. 欠番

7. レガッタフォーマット

7.1. 参加艇数が 40 艇以下の場合、大会は 1 フリートで行われる。

7.2. 参加艇数が 41 艇以上の場合、フリート全体を 4 つのディビジョンに分け、2 つのディビジョンごとにレース（例：Red-Blue、Yellow-Green）を行う。2 つのフリートレースの成立をもって 1 レースとする。なお、Red ディビジョン過去全日本 470 参加選手などとする。

7.3. 2 日目は、1 日目レース終了後、艇はシリーズの成績をもとに新たなディビジョンに分けられる。ディビジョンは、20:00 時点の順位（確定していない場合は暫定順位）をもとに次の様に割り当てられる。

順位	フリートの割り当て
1~ 全艇の 1/4 位	Red
次点 位	Blue
次点+ 1 位	Yellow
次点+ 2 位	Green
次点+ 3 位	Green
次点+ 4 位	Yellow
次点+ 5 位	Blue
次点+ 6 位	Blue
以下同様	

2 艇以上が同じ順位の場合、SI7.1 でのフリートの順に振り分けられる。

7.4. 同日に 3 つのフリートのレース数が同じだけ完了していない場合、同じレース数になる様に、次の日もそのフリートでレースを続ける。全ての艇はその後新しいフリート分けを行う。

7.5. 本大会はディビジョンテープを配布しない。選手の責任で与えられたフリートを帆走すること。

※安全確認が取れるようにご協力ください。

※異なるフリートを帆走した艇は着順が付かないことがある。

8. スケジュール

8.1. レース日程

日付		時刻	
Day1	7月18日(土)	最初の予告信号予定時刻	1030 hrs.
Day2	7月19日(日)	最初の予告信号予定時刻	TBA

8.2. 1日のレース数は4レースとする。

8.3. レース委員会の裁量により、予定された日に行われなかったレースは、翌日に行うことができる。

8.4. 引き続き行うレースのための予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。

8.5. 最終日の予告信号は14:00より後には発しない。

9. クラス旗

9.1. 1フリートの場合、ピンク地に青470のフラッグ。

9.2. デイビジョン分けを行った場合

クラス旗（フリート旗）及び識別リボンは以下の通りとする。

Div Insignia	Color or Background Color
Red	Red
Blue	Blue
Yellow	Yellow
Green	Green

10. コース・エリア

コース・エリアの場所を SI Addendum A に示す。

11. コース

11.1. SI Addendum B の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

11.2. コースの短縮は行わない。これは規則 32 を変更している。

11.3. 予告信号以前もしくは同時にレース委員会信号艇に、選択されるコースを掲示する。また、最初のレグのおおよそのコンパス方位・距離を掲示する。

12. マーク

12.1. マーク、または関連したゲートマークは、次の通りとする。

Marks 1, 2, 3s,3p, 4s,4p	New Mark	Starting Line Mark	Inflatable Finishing Line Mark
黄色円錐台	ピンク色の円錐台	レース委員会艇	レース委員会艇 黄色の細い円筒形

12.2. スタートラインとフィニッシュラインはレース委員会艇か、インフレーターブルマークである。

13. スタート

13.1. スタートラインは、レース委員会艇の「オレンジ色旗 またはオレンジ色のぼり」を掲げたポールの間とする。

- 13.2. [DP] [NP]他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。また、回避エリアはスタートラインから 100m とする。
- 13.3. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は規則 A4 及び A5 を変更している。

14. コースの次のレグの変更

- 14.1. コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b) フィニッシュラインを動かすか、(c) 風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。
- 14.2. ゲートマークを除き、艇はコースの変更を知らせるレース委員会艇をスターボード側に、隣接するマークをポート側になる様に通過しなければならない。この項は規則 28.1 を変更している。

15. フィニッシュ

フィニッシュラインはレース委員会艇のオレンジ色旗を掲揚しているポールと黄色の細いブイのコース側間とする。

16. ペナルティー方式

- 16.1. 規則 42 違反に対し、付則 P を適用する。
- 16.2. 付則 P2.2 は変更し、最初のペナルティー後にペナルティーに適用される。また、付則 P2.3 は適用されない。

17. タイムリミットと目標時間

- 17.1. タイムリミットと目標時間は次の通りとする。

Time Limit	Mark 1 Time Limit	Finish window	Target Time
75 分	20 分	10 分	45-50 分

- 17.2. マーク 1 のタイムリミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースは中止する。
- 17.3. 先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュウインド内にフィニッシュしない艇は DNF と記載される。この項は規則 35 と A4、A5 を変更している。
- 17.4. 目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

18. 抗議と救済の要求

- 18.1. 抗議は受け付けない。
- 18.2. レース委員会、テクニカル委員会、またはプロテスト委員会による抗議を規則 61.1(b)に基づき伝えるために公示する。
- 18.3. 規則 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストを掲示する。
- 18.4. 規則 64.3 (b) に関する事項の「責任ある当局」は 470 のテクニカル委員長である。
- 18.5. 大会計測規定、クラスレーまたは [DP]および [SP]とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。艇は、これらの違反に関する審問より前に、プロテスト委員会事務局に準備されたフォームに記入して提出することで裁量ペナルティーを受け入れることができる。
- 18.6. [SP]印の SI 違反は、レース委員会が審問なしに標準的なペナルティーを適用することができる。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、WEB 公式掲示板に掲示される。レース委員会

は、ペナルティーが不適切であると考えたとき、艇を抗議することがある。この項は規則 60.1、63.1 および付則 A5 を変更している。

18.7. [NP]印の SI 違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は規則 60.1(a)を変更している。

19. 得点

19.1. 付則 A の低得点方式を適用する。

19.2. 大会の成立には 1 レースを完了する事が必要である。

19.3. 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。

19.4. 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

20. [DP] [NP]安全規定

20.1. 本大会 選手、コーチ・サポーター、運営スタッフ、大会関わる全ての者は、**毎朝 8 : 45 までにオンラインの感染症拡大防止のための調査を行わなければならない。**

感染症拡大防止のための調査 URL : <https://ws.formzu.net/dist/S37955104/>

20.2. 本大会は受付登録及び、チェックアウトチェックイン、リタイア報告をオンラインの「[SAFETY REGULATIONS\(オンラインチェックアウトチェックイン\) FORM](#)」(以下、[SAFETY REGULATIONS FORM](#))で行う。

SAFETY REGULATIONS FORM は、**Google スプレッドシート**を使用し行う。

※動作には、**Google スプレッドシートアプリをダウンロードが必要。**

※LINE アプリからでは開きません。**Google スプレッドシートを開いてください。**

※通信にかかる費用は選手の負担となります。ご理解ください。(Wi-Fi 環境のある場所をご利用ください。)



iOS 版
App Store



Android 版
Google Play ストア



SAFETY REGULATIONS FORM URL: <https://bit.ly/2ZrhFW8>

20.3. 受付登録

大会初日の **8 : 30~9 : 10** に「[SAFETY REGULATIONS FORM](#)」に自艇のセイルナンバー行の **Registration(受付登録) 列に ✓** をつけなければならない。また、セイルナンバーに変更がある場合は自艇のセイルナンバーを書き換え赤文字に変更の上、関東 470 協会  LINE 連絡を (8 : 30~9 : 10) すること。

※同じ大学等でセイルナンバーが同一にならないようにすること。

20.4. [SP] チェックアウトチェックイン

20.4.1. レースに参加（出艇）しない艇は、8:30~9:10に「[SAFETY REGULATIONS FORM](#)」自艇のセイルナンバー行のチェックアウト列に **DNC** をつけなければならない。

20.4.2. レースに参加しようとする競技者は、8:30~9:10に「[SAFETY REGULATIONS FORM](#)」に自艇のセイルナンバー行のチェックアウト列に **✓** をつけなければならない。

20.4.3. 海上チェックイン

- ・参加艇はその日の最初のスタート予告信号前までにチェックインを受けなければならない。
- ・参加艇は **L** 旗を掲揚したシグナルボートの近くをスターボードタックで帆走し、セイルナンバーを呼ばれたことをもってチェックインを受けたこととする。

20.4.4. 帰着した艇の艇長は、帰着後速やか（出来るだけ早い機会）に「[SAFETY REGULATIONS FORM](#)」に自艇のセイルナンバー行のチェックイン列に **✓** をつけなければならない。

20.4.5. 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会艇にその旨を伝えること。また、帰着後直ちに **SI20.4.4** を行い、関東 470 協会  LINE 連絡（帰着完了）をしなければならない。

20.4.6. 一度ハーバーに帰着した艇（SI20.4.5）及び、SI20.4.1 の手続きを行った艇が再度レースに参加しようとする（出艇する）場合、競技者は、「[SAFETY REGULATIONS FORM](#)」に自艇のセイルナンバー行のチェックアウト列に **✓✓** をし、関東 470 協会  LINE 連絡（再出艇）をしなければならない。また、海上にてシグナルボートにレース参加の意思を伝えなければならない。

20.5. **[DP]** レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

20.6. レース委員会が数字旗 8 を掲揚した場合、すべてのレース委員会艇とサポートボートは危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

21. [DP] 乗員の交代と装備の交換

21.1. 競技者の交代は NoR の参加資格を満たし、オンラインエントリー備考欄に必要事項を入力していれば行える。ただし、スキッパーの交代はポイントランキング対象からは除外される。

21.2. 損傷または紛失した装備の交換は行っても良い。

22. [DP] 装備と計測のチェック

22.1. 艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。

22.2. 水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示された場合、従わなければならない。

23. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りである。

Boat	Flag description
レース委員会	神奈川県セーリング連盟RC旗

24. 支援艇

24.1. 支援艇は、密を避ける人数しか乗艇してはならない。（推奨 2~3 人程度）

24.2. 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m 以上外側にいなければならない。

25. [DP] ゴミの処分

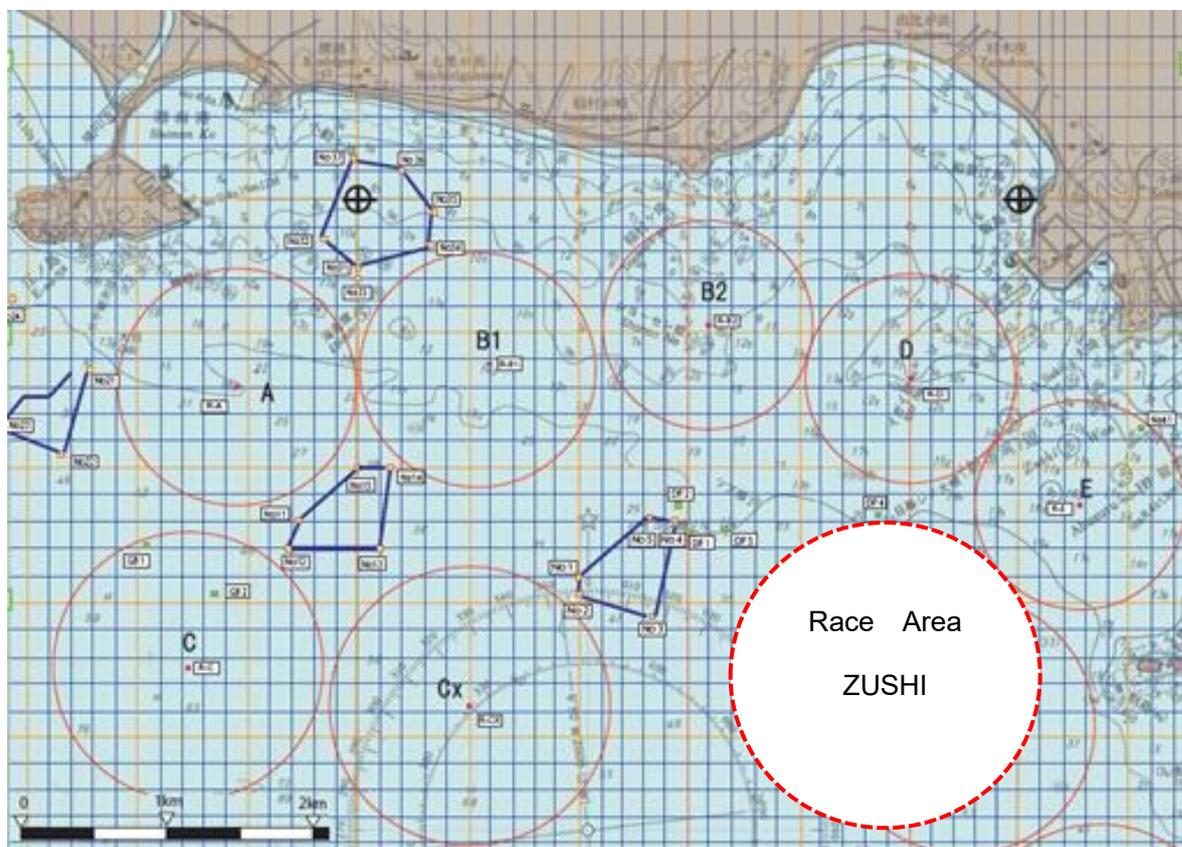
我々はセイラーとして、海洋と沿岸海域を保護し復元しようとしている。規則 55 を参照。意図的に水の中にゴミを入れてはならない。ごみは支援艇またはレース委員会艇・プロテスト委員会艇に渡してもよい。

26. 欠番

27. 無線通信

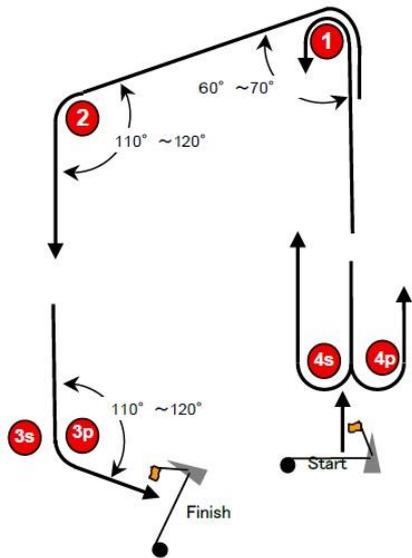
レース中の艇は、無線送信も、受信も行ってよい。また携帯電話にも適用される。

SI Addendum A COURSE AREAS



SI Addendum B COURSE ILLUSTRATION

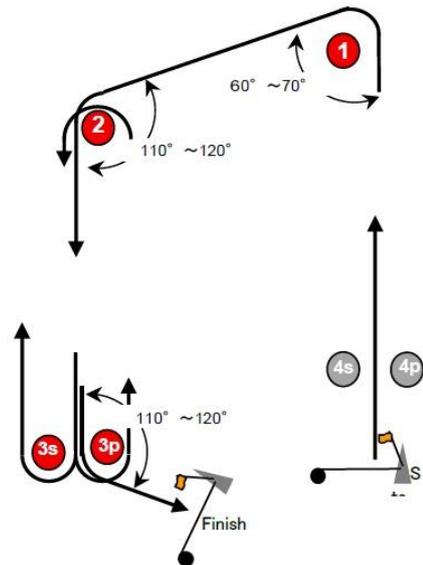
I



Course : Inner Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
I2	Start -1 -4s/4p -1 -2 -3p -Finish
I3	Start -1 -4s/4p -1 -4s/4p -1 -2 -3p -Finish

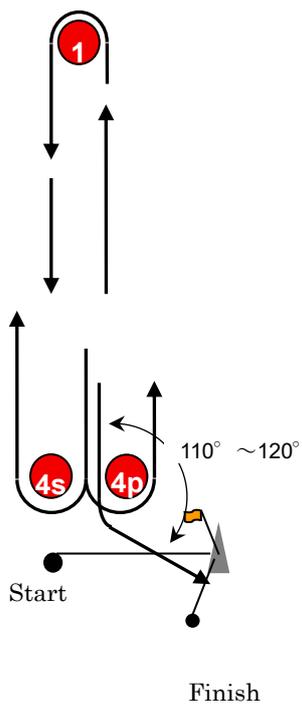
O



Course : Outer Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
O2	Start -1 -2 -3s/3p -2 -3p -Finish
O3	Start -1 -2 -3s/3p -2 -3s/3p -2 -3p -Finish

LR



Course : Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LR2	Start -1 -4s/4p -1 -4p -Finish
LR3	Start -1 -4s/4p -1 -4s/4p -1 -4p -Finish